

ベストクラス選定理由書

作成者：木上徹也・松本侑樹・川北多美・柳真人・西田陽風・井上裕一朗・山本智一・須田康之

科目名称 子どもの安全と学校組織 (担当教員名：川上泰彦・神内聰・三浦智子・西盛康子)	
課程 ： 学部	開講時期 ： 前期
授業形態 ： 講義・演習	授業規模 ： 81人以上
インタビュー対象教員名 川上泰彦 (実施日時：9月11日； 実施場所：図書館グループラボ)	
インタビュー対象受講者名 植松美帆 (実施日時：9月 9日； 実施場所：Zoom 上)	
選定理由 <p>以下の理由から、「子どもの安全と学校組織」をベストクラスとして選定します。</p> <p>第一に、学校現場に立った際に直結する実践的な学びが得られるよう工夫されている点です。特に、「学校をみんなが安心できる学びの場にする」「子どもの安全をみんなで守る」という視点は、現在の学校現場の課題と深く結びついています。授業では、日常的に直面する具体的で身近な事例が取り上げられており、学生が自分事として課題に向き合えるよう配慮されています。さらに、本講義で得た学びが2年次の実地教育の場で思い起こされ、実際に役立てられていることが学生インタビューを通して確認できました。単なる知識の習得にとどまらず、実践に生きる学びを提供していることが分かりました。</p> <p>第二に、「正解が一つとは限らない」という考え方を基盤に、多様な視点から学びを深める授業づくりが推進されている点です。学生が当事者意識を持ちながら主体的に考えられるように、アウトプットの機会が豊富に設けられ、それに対して教員から丁寧なフィードバックが行われています。こうした過程を通じて、学生は自らの考えを整理し、他者の意見と比較しながら学びを深めています。また、大学教員だけでなく、現職の教員を招いて話を聞く機会が提供されており、現場の第一線で働く教師の視点に触れることができます。学生の理解を一層深めています。学生インタビューでも、「学生とは違う判断があり、考えが深まった」との声が寄せられており、学び続ける姿勢の育成につながっていると考えます。</p> <p>第三に、本学の強みを生かした取り組みがなされている点です。本学附属の幼稚園・小学校・中学校の不審者対応研修の映像を教材として活用するほか、附属校から現職教員を招いて話を聞くなどの場が設けられています。これにより、学生は机上の学習だけでなく、現実に即した学びを経験できています。このような工夫は、学生にとって「安全を守ることの意義」をより具体的に捉える契機となり、当事者意識の醸成につながっています。また、附属校と連携して情報や課題を共有している本学ならではの教育資源の活用が授業に反映されています。</p>	